

2015年3月期 第3四半期決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社

2015年2月5日

本日のご説明内容

I.

2015年3月期 第3四半期 決算概要

II.

2015年3月期 通期業績予想

エグゼクティブサマリ

I. 2015年3月期 第3四半期 決算概要

- 半導体売上高は、RSP(ルネサスエスピードライバ)譲渡影響により、前四半期比11%減の1,774億円も、RSP相当分を控除すると、為替効果や堅調を維持する自動車向けなどにより、前四半期比横ばい
- 営業損益は、円安効果に加え、上期末の費用集中の反動や費用効率化およびプロダクトミックス改善などにより、前四半期比59億円増の295億円
- 四半期純損益は、早期退職優遇制度の実施に伴う特別損失が発生するものの、RSP譲渡に伴う特別利益があり、382億円の黒字

II. 2015年3月期 通期業績予想

- 通期の半導体売上高は、前期比6%減の7,480億円を見込むが、RSP相当分を除くと前期比3%減の見込み
- 固定費削減の進展により、通期の営業損益は前期比304億円増の980億円、当期純損益は前期比793億円増の740億円を見込む
- 費用構造の改善が進むが、為替など一時的要因による押し上げ効果も含むため、安定的に利益を出せる体質を目指し構造改革を計画通り推進する

I. 2015年3月期 第3四半期 決算概要

2015年3月期 第3四半期 決算概要

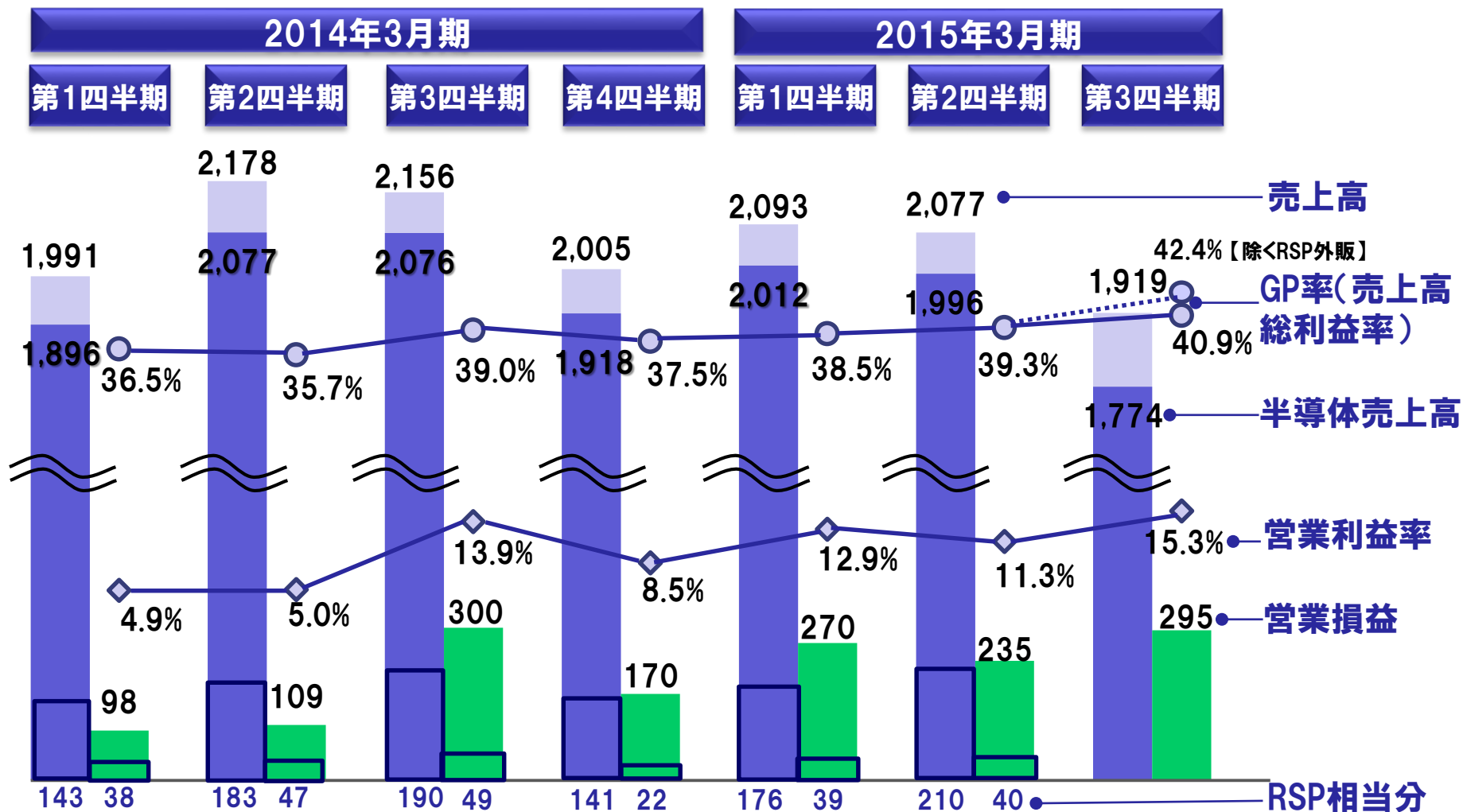
- 半導体売上高は、RSP譲渡影響により、前四半期比11%減だが、RSP相当分を控除すると、為替効果や堅調を維持する自動車向けなどにより、前四半期比横ばい
- 営業損益は、為替効果に加え、上期末の費用集中の反動や費用効率化およびプロダクトミックスの改善などにより、前四半期比59億円増

(億円)	2014年 3月期	2015年3月期					
	第3四半期	第2四半期	第3四半期 (10/29予想)	第3四半期	前四半期比	前年同期比	10/29予想比
売上高 【RSP相当分除く】*	2,156 【1,967】	2,077 【1,867】	1,790 【1,730】	1,919 【1,852】	△157 (△7.6%) 【△15/△0.8%】	△237 (△11.0%) 【△114/△5.8%】	+130 (+7.2%) 【+122/+7.1%】
半導体売上高 【RSP相当分除く】	2,076 【1,887】	1,996 【1,786】	1,680	1,774	△222 (△11.1%) 【△12/△0.7%】	△302 (△14.6%) 【△113/△6.0%】	+94 (+5.6%)
売上総利益(率) 【RSP相当分除く】	840 (39.0%) 【39.2%】	816 (39.3%) 【40.3%】	690 (38.5%) 【39.9%】	786 (40.9%) 【42.4%】	△31 (+1.6Pt.) 【+2.1Pt.】	△55 (+2.0Pt.) 【+3.2Pt.】	+96 (+2.4Pt.) 【+2.5Pt.】
営業損益(率)	300 (13.9%)	235 (11.3%)	130 (7.2%)	295 (15.3%)	+59 (+4.0Pt.)	△5 (+1.4Pt.)	+165 (+8.1Pt.)
経常損益	293	238	110	332	+94 (+39.7%)	+39 (+13.1%)	+222 (+201.6%)
四半期純損益	230	139	110	382	+243 (+174.5%)	+152 (+66.2%)	+272 (+247.9%)
1 US\$ =	99円	102円	103円	110円	8円 円安	11円 円安	7円 円安
1 ユーロ =	134円	138円	135円	140円	2円 円安	7円 円安	5円 円安

*: 2015年3月期第2四半期までのRSPの売上高および2014年10月1日のSynaptics社へのRSP譲渡後に同社の出荷システムが立ち上がる同月末まで代行販売した旧RSP製品の売上を除外(粗利は影響なし)

四半期業績推移 (億円)

- 2015年3月期第3四半期の半導体売上高は、RSP譲渡影響により、前四半期比11%減、前年同期比15%減
- GP率、営業利益率ともに改善傾向にあるが、為替効果など一時的な要因を含む



2015年3月期 第3四半期 半導体売上高の事業別状況①

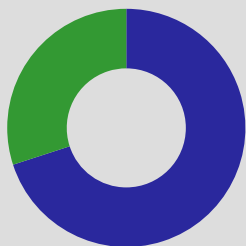
- 第3四半期は、自動車は前年同期比・前四半期比ともに増収となるが、汎用はRSP譲渡影響に加え、事業撤退影響により前年同期比・前四半期比ともに減収

(億円)	2014年 3月期	2015年3月期				
	第3四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	前四半期比	前年同期比
半導体売上高 計 【RSP相当分除く】	2,076 【1,887】	2,012 【1,836】	1,996 【1,786】	1,774	△222 (△11.1%) 【△12/△0.7%】	△302 (△14.6%) 【△113/△6.0%】
自動車	797	798	788	821	+33 (+4.2%)	+24 (+3.0%)
汎用 【RSP相当分除く】	1,264 【1,074】	1,198 【1,022】	1,197 【988】	940	△257 (△21.5%) 【△47/△4.8%】	△323 (△25.6%) 【△134/△12.4%】
その他半導体	16	16	10	12	+2 (+22.0%)	△3 (△21.0%)

2015年3月期 第3四半期 半導体売上高の事業別状況②

自動車

車載情報
約30%

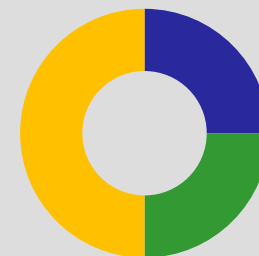


車載制御
約70%

- 車載制御、車載情報はともに前四半期比増となり、自動車全体では前四半期比約4%増
- ただし、為替効果を除くと、車載情報は前四半期比増も、車載制御は前四半期比微減となり、自動車全体では前四半期比横ばい

汎用

その他汎用品
約50%



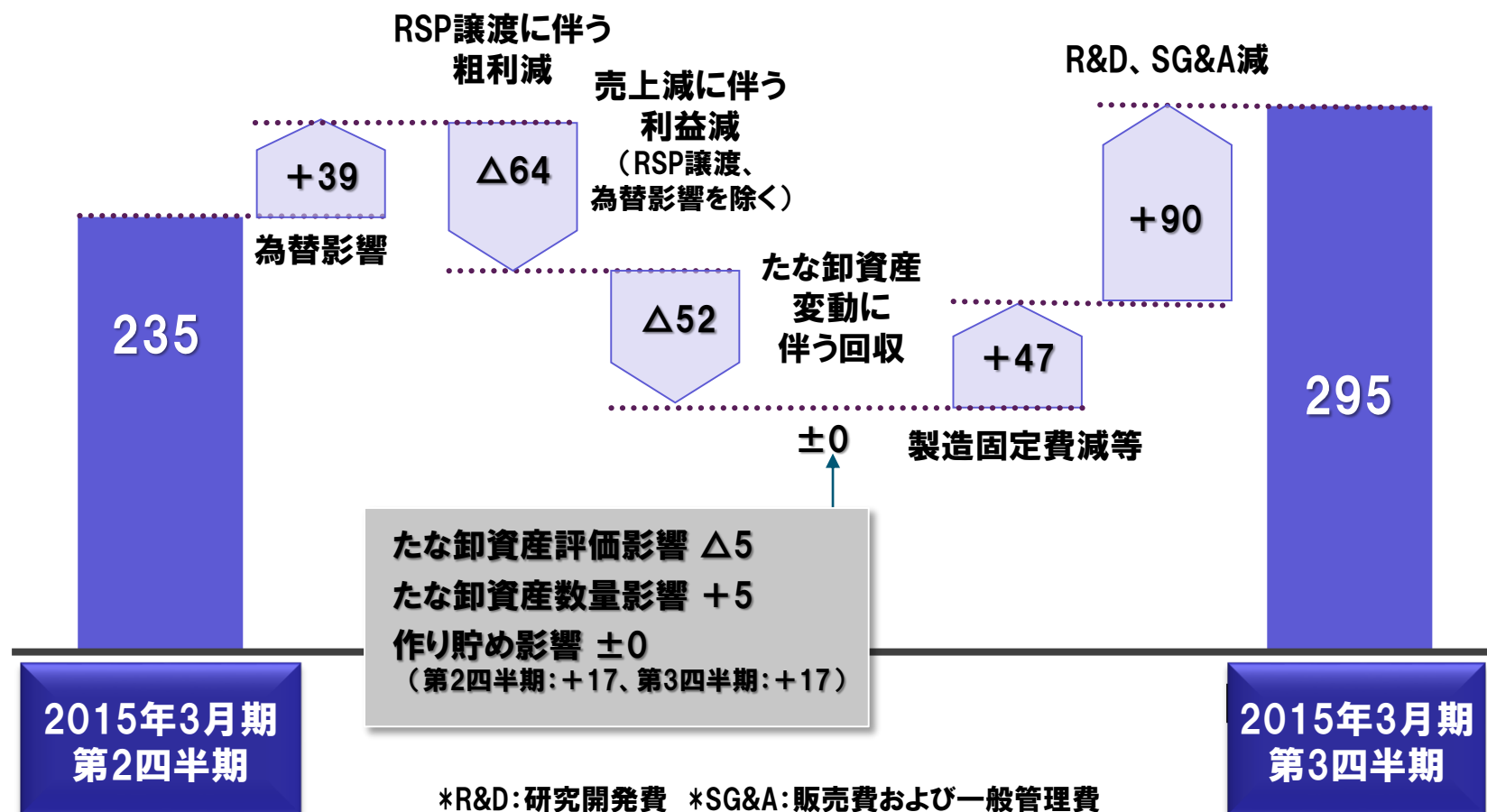
産業・家電
約25%

OA・ICT
約25%

- 産業・家電は、前四半期比+約15%増となり、為替効果を除いても約10%の増収
- OA・ICTは前四半期比約5%減となり、為替効果を除くと約10%の減収
- その他汎用品は、前四半期比約40%減だが、売上の約30%を占めていたRSPの中小型ドライバIC相当分を除いて比較すると前四半期比約10%の減収。さらに為替効果を除くと前四半期比約15%の減収。
- 汎用全体では、RSP相当分を除くと約5%の減となり、為替効果を除くと約10%の減収

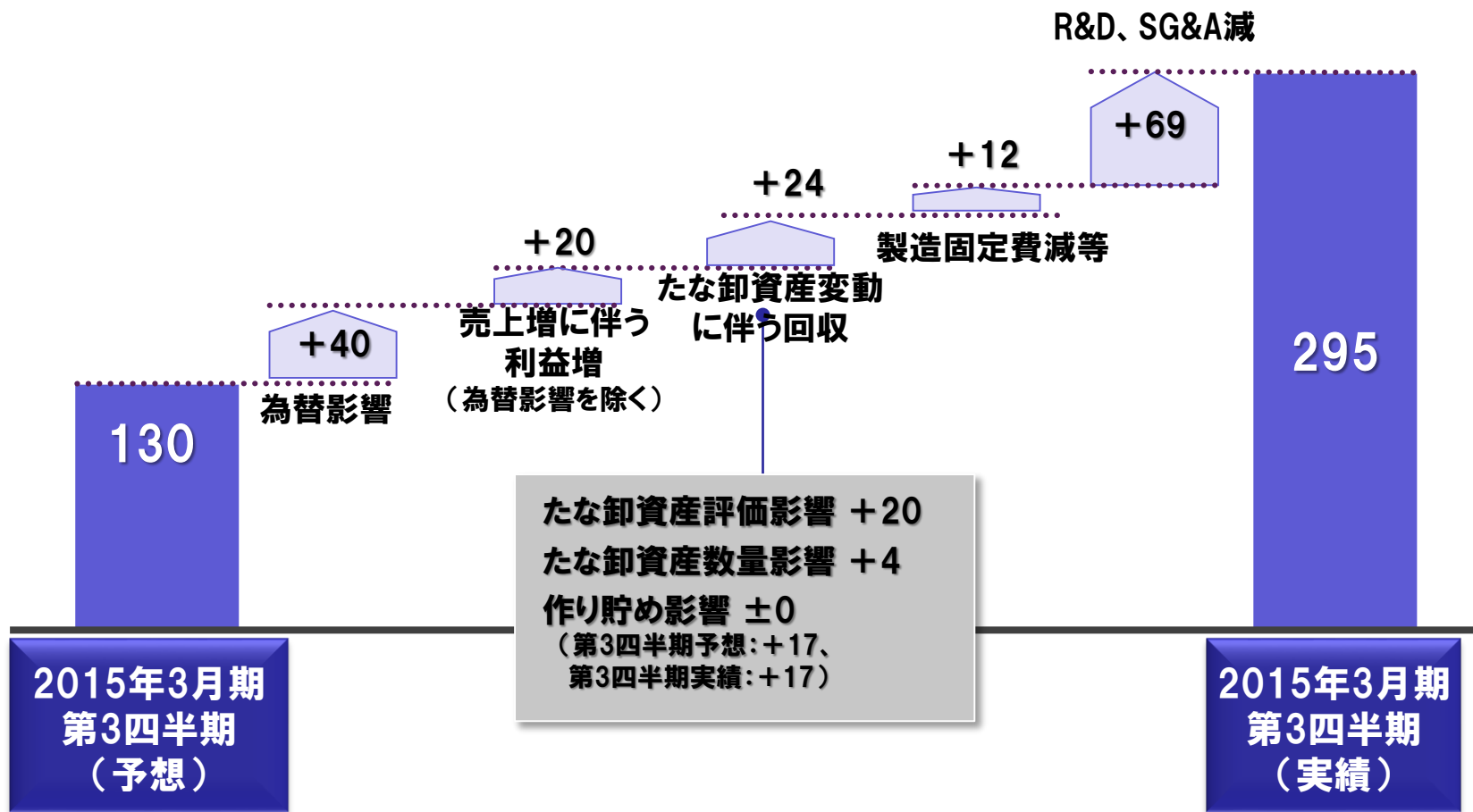
2015年3月期 第3四半期 営業損益（前四半期比）（億円）

- RSP譲渡などによる売上減に伴う利益減があるものの、為替影響に加えて、構造改革に伴う固定費削減効果や上期末の費用集中の反動、費用効率化およびプロダクトミックスの改善により、営業損益は前四半期比59億円増



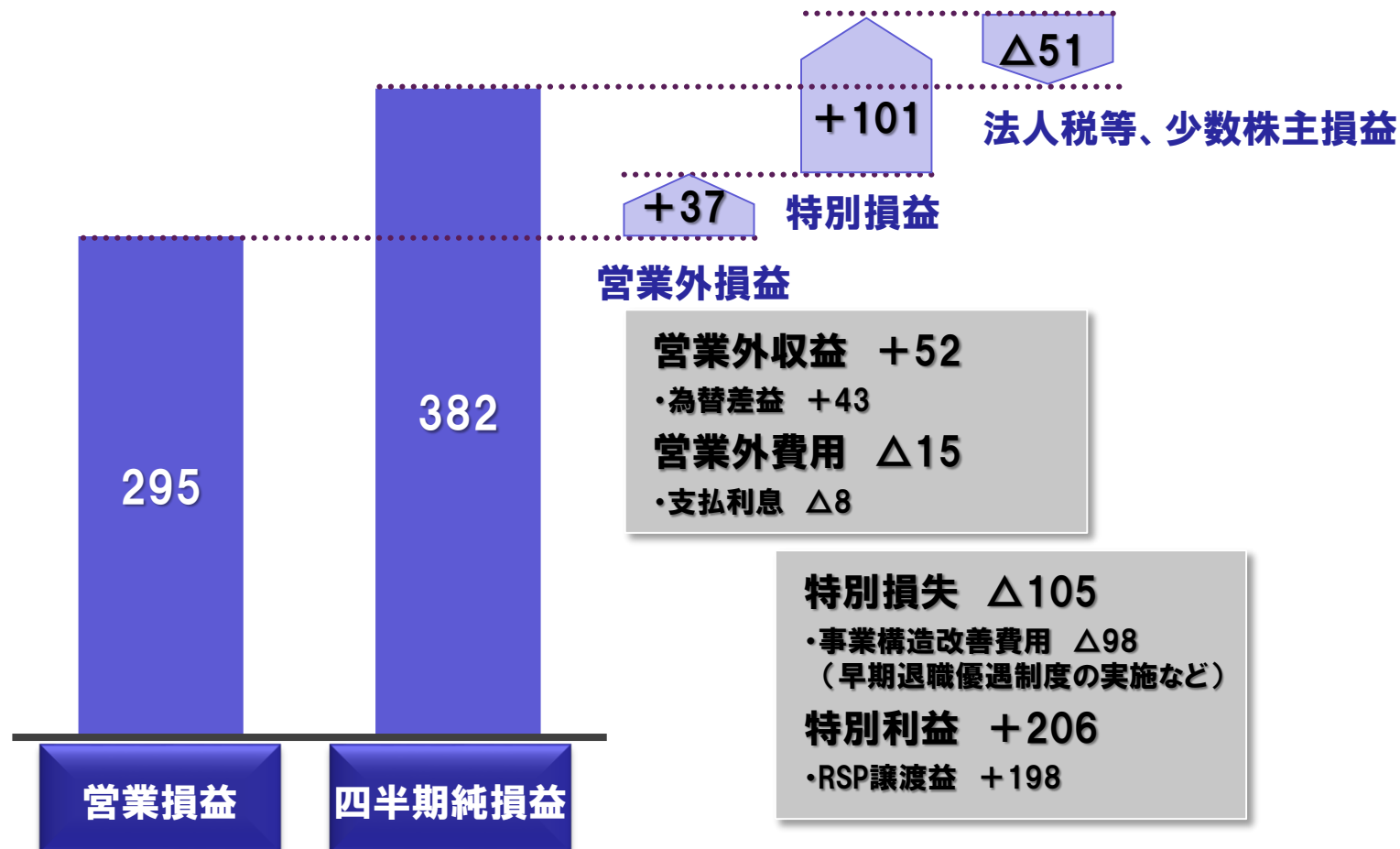
2015年3月期 第3四半期 営業損益（10月29日予想比）（億円）

- 為替影響、売上増に伴う利益増およびたな卸資産変動に伴う回収増に加えて、見積もっていたR&Dなどの費用を効率化により計画比減とし、営業損益は予想比165億円増



2015年3月期 第3四半期 四半期純損益（億円）

- 第3四半期は早期退職優遇制度の実施に伴う特別損失が発生するもののRSP譲渡に伴う特別利益があり、四半期純損益は382億円の黒字



バランスシートの状況

- 当期利益の積み上げにより、自己資本比率30%台の定着を図っていく

(億円)	2014年3月末	2014年9月末	2014年12月末
総資産	7,860	8,368	8,546
うち 現金及び現金同等物	2,659	2,882	3,358
うち たな卸資産	1,261	1,196	1,095
負債合計	5,587	5,882	5,687
うち 有利子負債	2,709	2,689	2,621
株主資本	2,206	2,306	2,688
純資産合計	2,273	2,486	2,859
D/Eレシオ (グロス)	1.26倍	1.15倍	0.93倍
自己資本比率	27.3%	27.9%	33.2%

(注)①現金及び現金同等物:「現金及び預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3ヶ月を超える定期預金」を控除しております。

②有利子負債:「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「リース債務」、「長期借入金」

③自己資本:「株主資本」、「その他の包括利益累計額」 ④D/Eレシオ(グロス):有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況

- 第3四半期は、早期退職優遇制度実施に伴う退職金の支払いがあったものの、高水準の税引前利益に加えて、RSP譲渡による収入があり、フリー・キャッシュ・フローは四半期レベルでは過去最高水準

(億円)	2014年3月期				2015年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	284	90	339	224	20	495	410
投資活動による キャッシュ・フロー	△25	△65	△34	△68	△109	△149	72
フリー・キャッシュ・ フロー	259	25	305	156	△89	347	482

II. 2015年3月期 通期業績予想

2015年3月期 第4四半期および通期業績予想

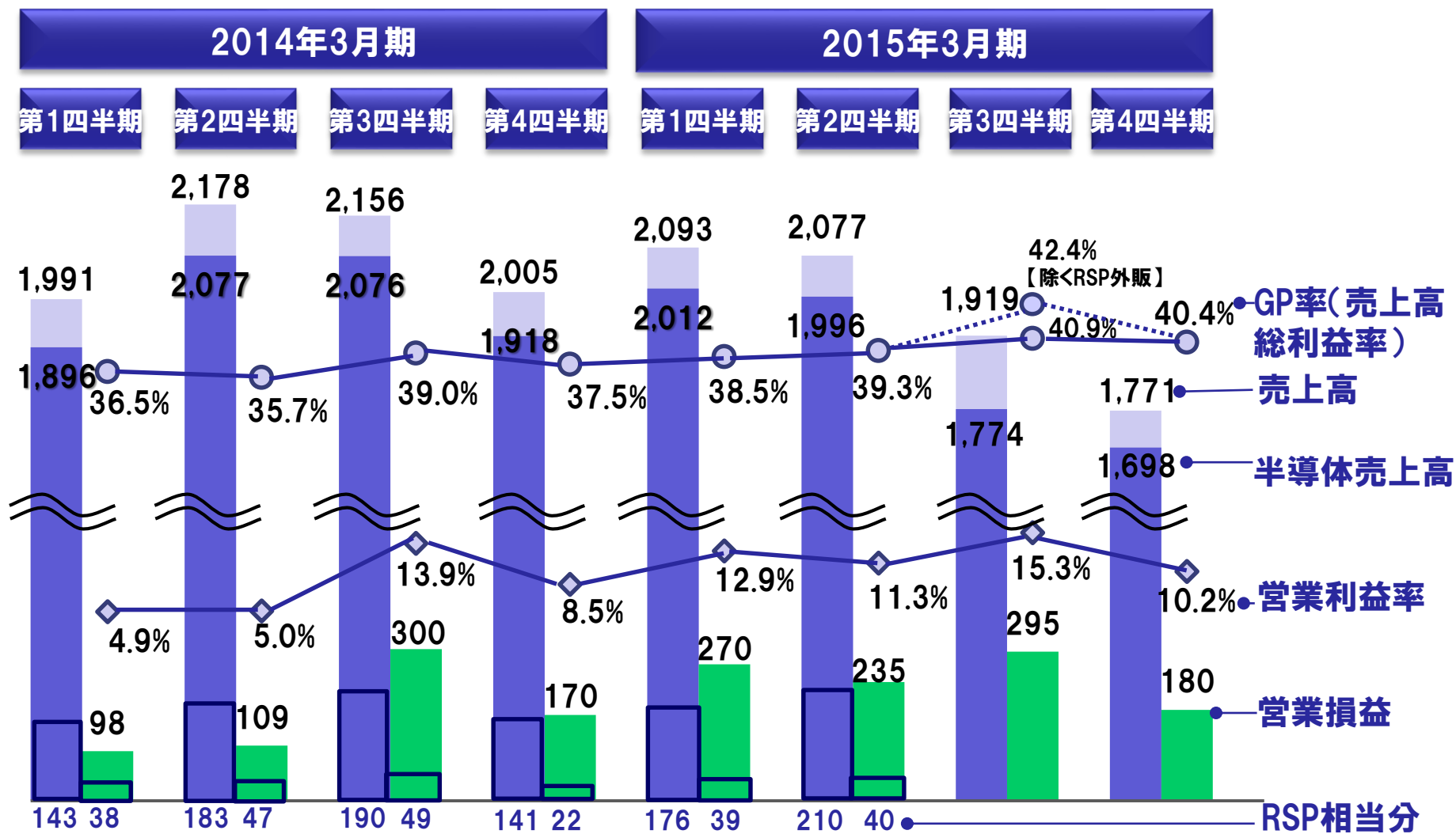
- 通期の半導体売上高は、前期比6%減の7,480億円を見込むが、RSP相当分を除くと前期比3%減の見込み
- 固定費削減の進展により、通期の営業損益は前期比304億円増の980億円、当期純損益は前期比793億円増の740億円を見込む

(億円)	2014年3月期			2015年3月期						
	第3四半期 (累計)	第4四半期 (会計)	通期	第3四半期 (会計)	第3四半期 (累計)	第4四半期 (会計)	前四半期比	前年同期比	通期	前期比
売上高 【RSP相当分除く】*	6,325 【5,809】	2,005 【1,864】	8,330 【7,674】	1,919 【1,852】	6,089 【5,636】	1,771	△148 (7.7%) 【△81/ △4.4%】	△234 (△11.7%) 【△93/ △5.0%】	7,860 【7,408】	△470 (△5.6%) 【△266/ △3.5%】
半導体売上高 【RSP相当分除く】	6,050 【5,534】	1,918 【1,777】	7,968 【7,311】	1,774	5,782	1,698	△76 (△4.3%)	△220 (△11.5%) 【△79/ △4.5%】	7,480 【7,095】	△488 (△6.1%) 【△217/ △3.0%】
売上総利益(率) 【RSP相当分除く】	2,345 (37.1%) 【37.2%】	752 (37.5%) 【38.0%】	3,097 (37.2%) 【37.4%】	786 (40.9%) 【42.4%】	2,407 (39.5%) 【40.5%】	715 (40.4%)	△71 (△0.6Pt.)	△37 (+2.9Pt.)	3,122 (39.7%) 【40.4%】	+25 (+2.5Pt.) 【+3.1Pt.】
営業損益(率)	507 (8.0%)	170 (8.5%)	676 (8.1%)	295 (15.3%)	800 (13.1%)	180 (10.2%)	△114 (△5.2Pt.)	+10 (+1.7Pt.)	980 (12.5%)	+304 (+44.9%)
経常損益	432	154	586	332	823	157	△175 (△52.6%)	+3 (+2.2%)	980	+394 (+67.2%)
四半期純損益	102	△155	△53	382	733	7	△375 (△98.2%)	+162	740	+793
(参考) 特別損益	△207	△275	△481	101	36	△126	△227	+149	△90	+391
1 US\$ =	98円	103円	100円	110円	105円	116円	6円 円安	13円 円安	108円	8円 円安
1 ユーロ =	130円	141円	133円	140円	140円	141円	1円 円安	-	140円	7円 円安

*: 2015年3月期第2四半期までのRSPの売上高および2014年10月1日のSynaptics社へのRSP譲渡後に同社の出荷システムが立ち上がる同月末まで代行販売した旧RSP製品の売上を除外(粗利は影響なし)

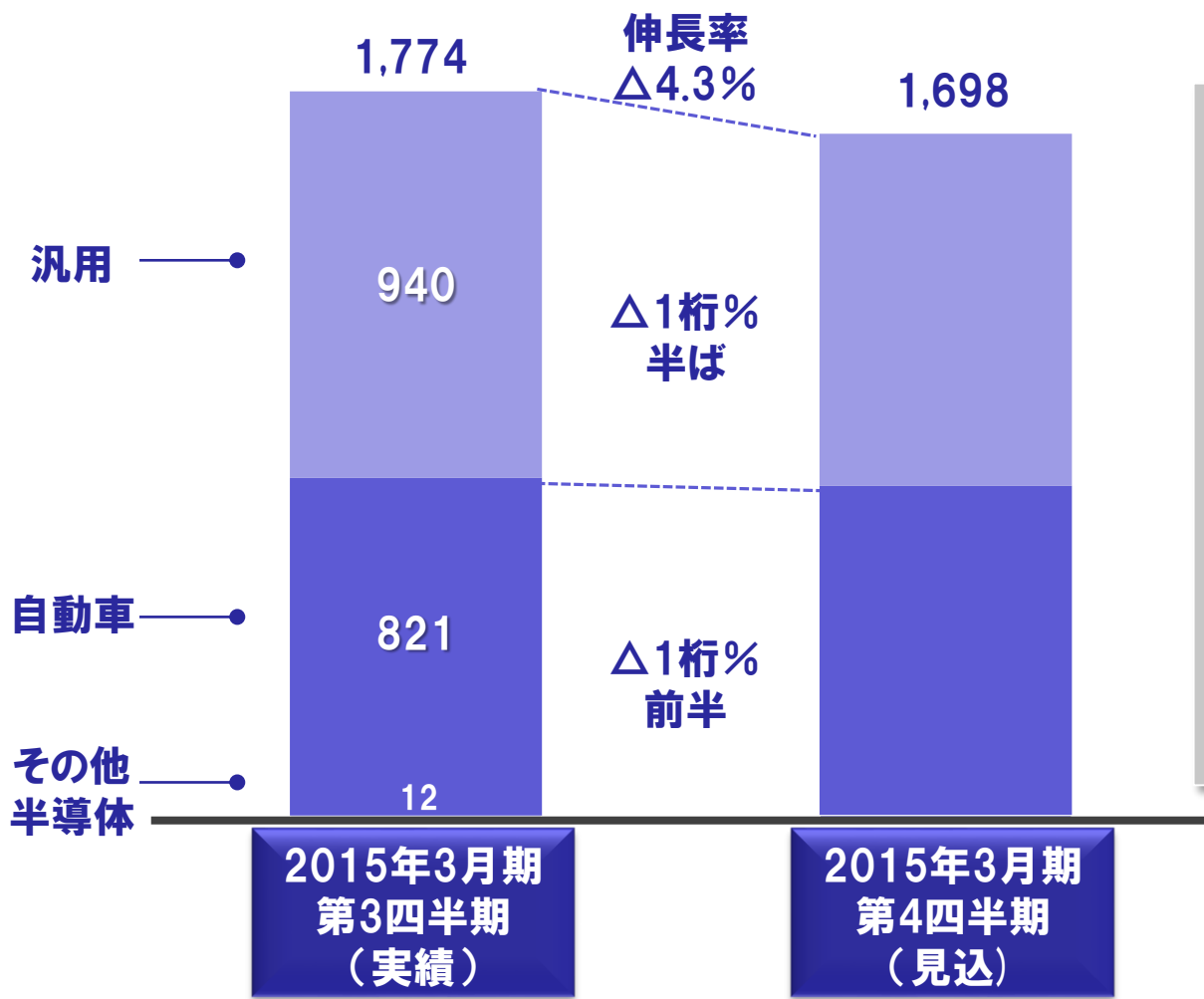
四半期業績推移 (億円)

■ 第4四半期のGP率は減収により、RSP相当分を除いた実態のGP率からは減少の見込み



2015年3月期 第4四半期 半導体売上高見通し(前四半期比) (億円)

- 自動車は前四半期比ほぼフラットとなるも、汎用は季節性要因に加えて撤退影響もあり前四半期比1桁%半ばの減収を見込む



4Qの主な増減要因

汎用

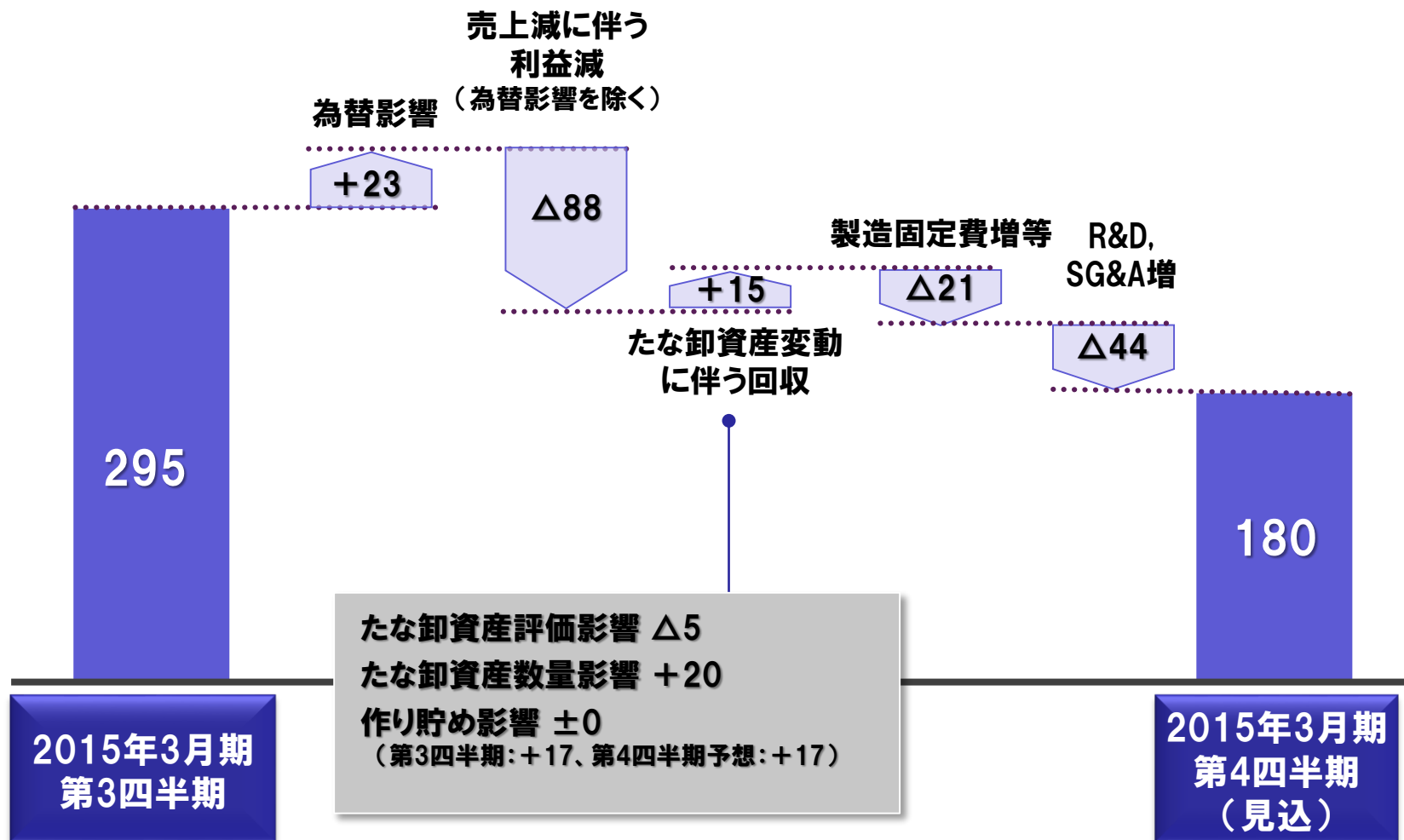
- 産業・家電は産業用途が引き続き堅調で前四半期比ほぼフラットを見込む
- OA・ICTとその他汎用品は撤退影響もあり前四半期比減を見込む

自動車

- 車載制御は前四半期比増を見込むが、車載情報が前四半期比減となる見込み

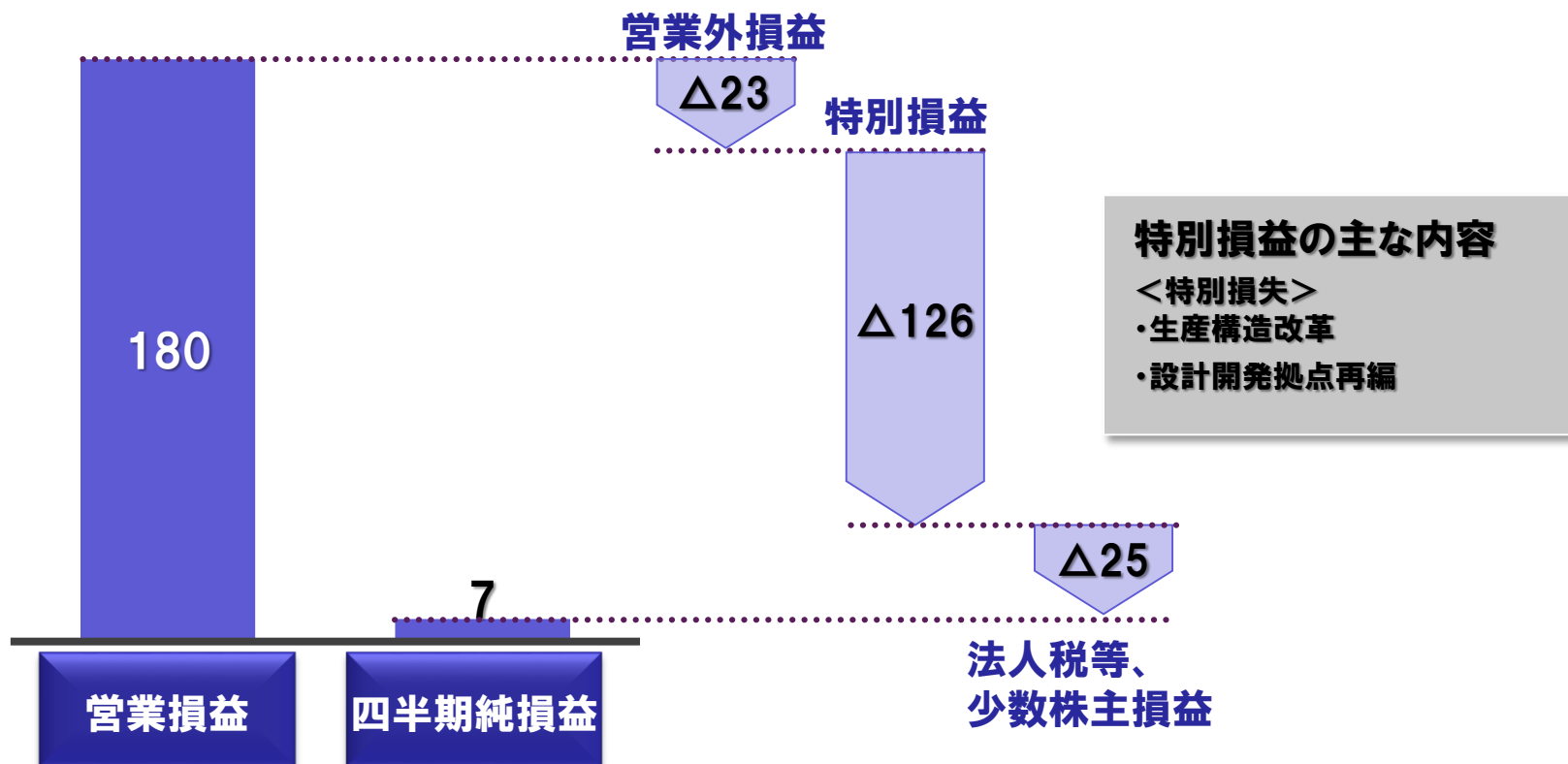
2015年3月期 第4四半期 営業損益見通し（前四半期比）（億円）

- 為替影響やたな卸資産変動に伴う回収増があるものの、売上減に伴う利益減や年度末の費用集中等により、前四半期比114億円減の予想



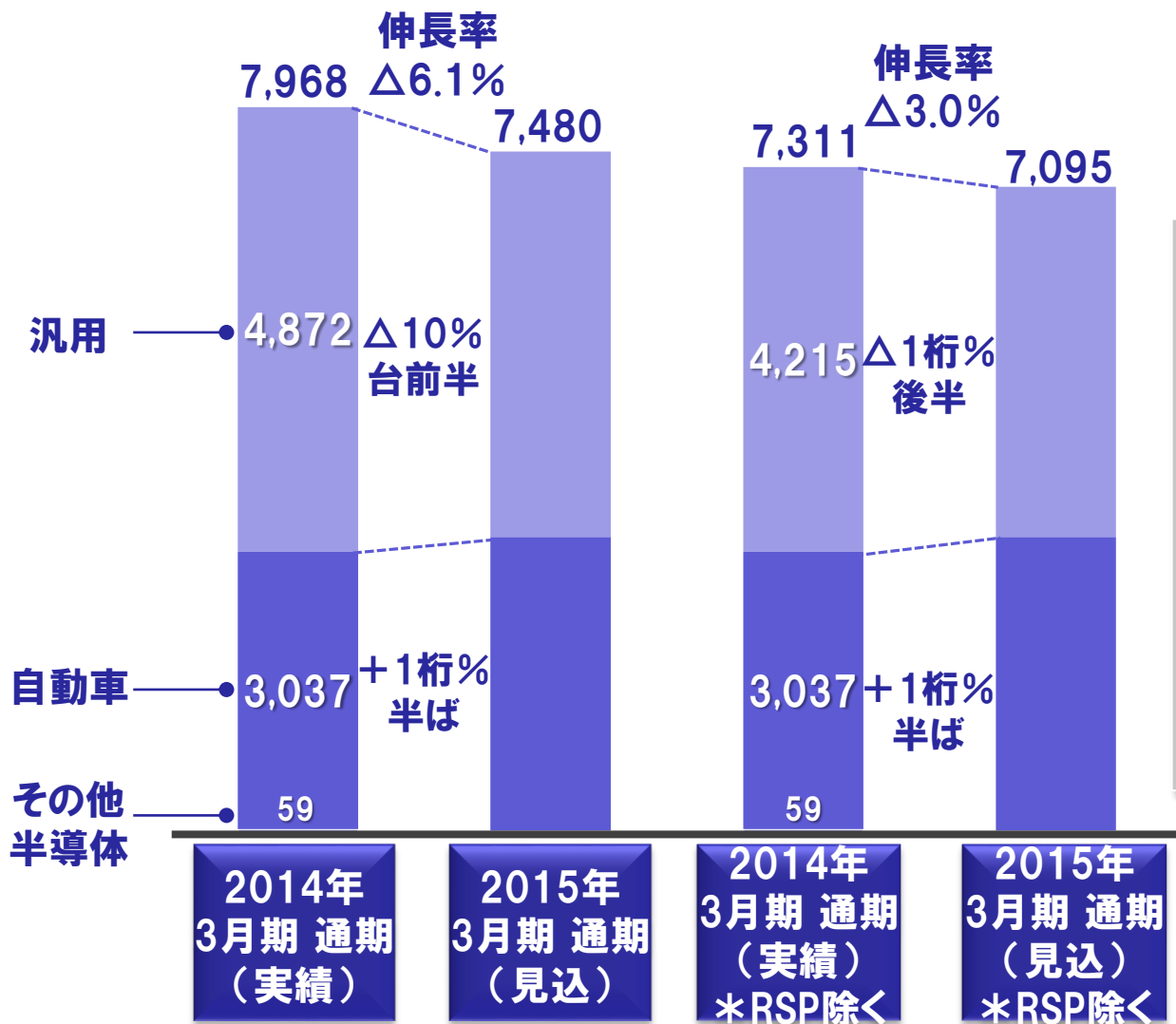
2015年3月期 第4四半期 四半期純損益見通し（億円）

- 第4四半期は生産構造改革などに伴う特別損失を見込み、四半期純損益は7億円の黒字の見通し



2015年3月期 通期 半導体売上高見通し(前期比)(億円)

- RSP相当分を除くと自動車は堅調な需要を背景に前期比+1桁%半ばの増収を見込むが、汎用は撤退影響により、前期比1桁%後半の減収を見込む



通期の主な増減要因

汎用

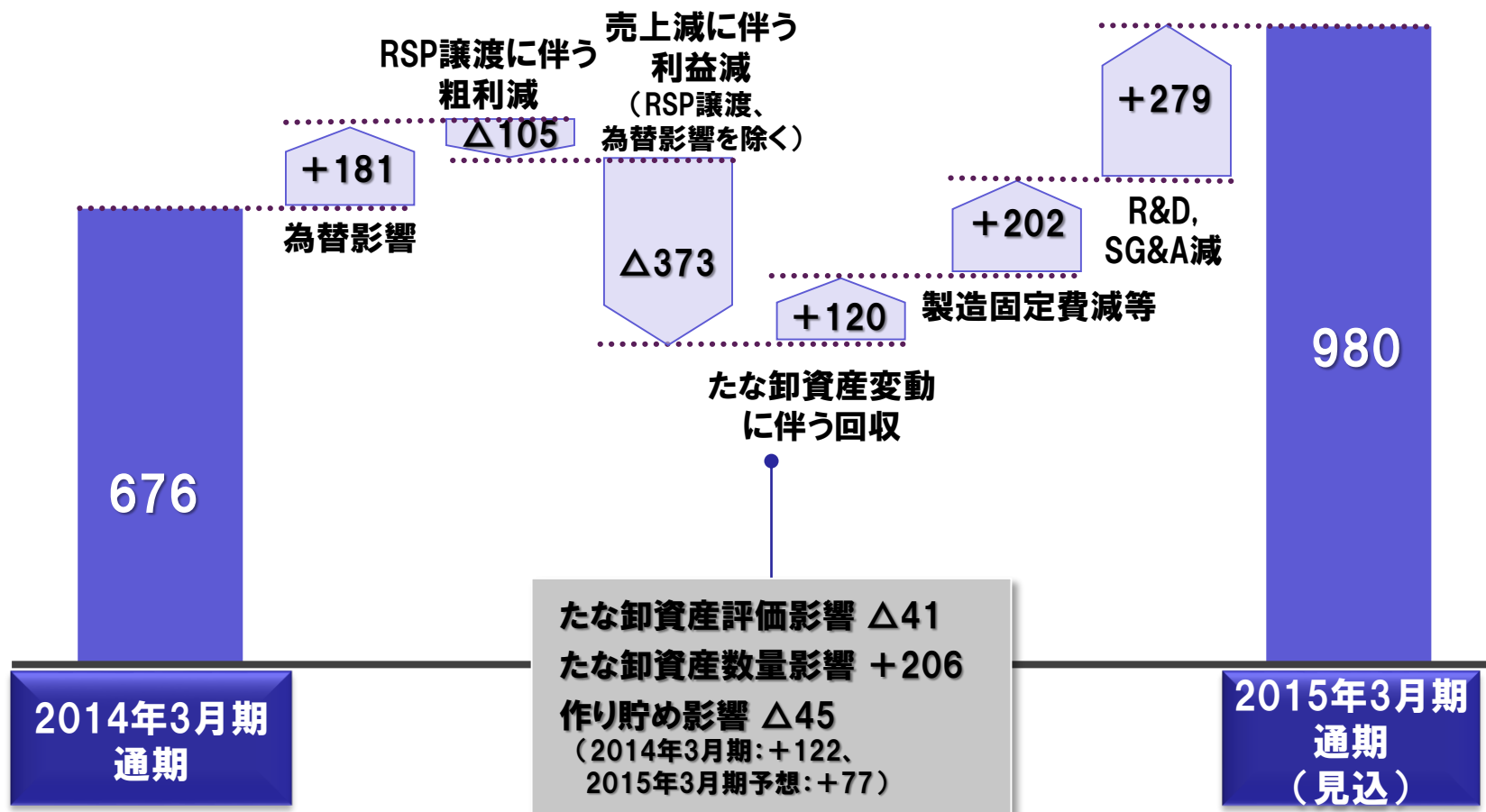
- 産業・家電は産業用途が好調で前期比増を見込む
- OA・ICTとその他汎用品は撤退影響もあり前期比減を見込む

自動車

- 車載制御、車載情報ともに前期比増の見込み

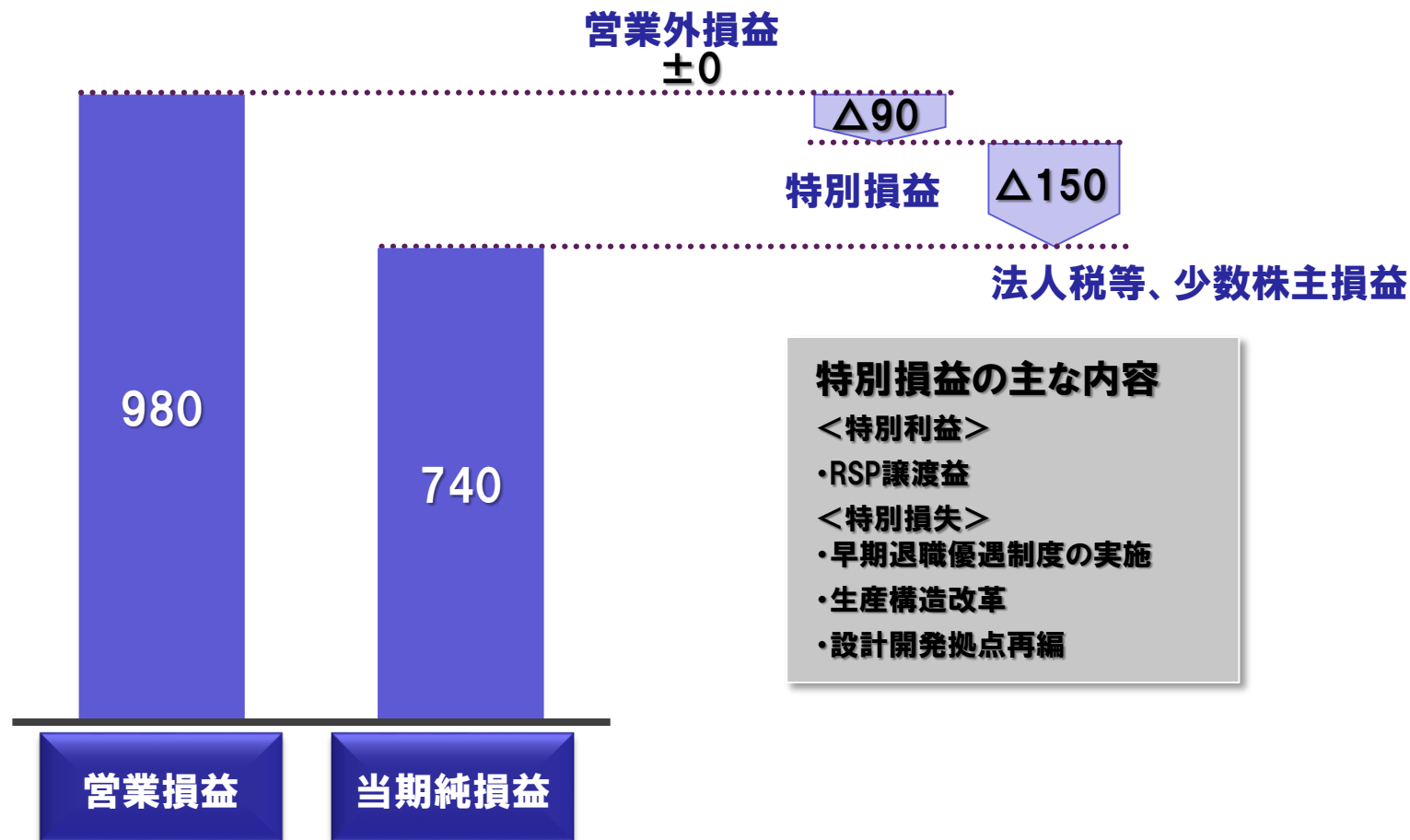
2015年3月期 通期 営業損益見通し（前期比）（億円）

- 売上減に伴う利益減があるものの、プロダクトミックスの改善や固定費削減効果を見込み、前期比304億円増の予想
- 費用構造の改善が進むが、為替など一時的要因による押し上げ効果も含むため、安定的に利益を出せる体質を目指し構造改革を計画通り推進する



2015年3月期 通期 当期純損益見通し (億円)

- 2015年3月期当期純損益は、早期退職優遇制度の実施など構造改革に伴う特別損失を見込むも、RSP譲渡に伴う特別利益198億円もあり、当期純損益は740億円の黒字の見通し



(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。



ルネサス エレクトロニクス株式会社